

令和6年度 園芸科「農業経営」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	園芸 科 3年 A組
教科書	農業経営 (実教出版)	副教材等	私たちとJA

1 学習の到達目標

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業経営とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 農業経営のマネジメントやマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

2 重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ・農業の基本的な知識と技術を習得する。 ・農産物流通におけるマーケティングの必要性和重要性、及びGAPを活用した経営改善を考える能力と態度を身につける。 ・農業経営における今日的な課題を解決しようとする能力と態度を身につける。

3 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等		
4	第1章 農業の動向と農業経営 1 日本と世界の農業 2 農業・農村と食料・環境 3 こんにちの農業経営	①世界の農業の現状	世界の農業の現状について学ぶ。	行動観察 ノート・課題提出 中間考査		
		②世界と日本農業の動向	世界と日本農業の動向について理解する。			
		③食糧の需給と貿易	食料の需給と貿易について理解する。			
		①農業・農村の機能と役割	農業・農村の機能と役割について学ぶ。			
		②食料と農業	食料と農業について理解する。			
5		③農業と環境保全	農業と環境保全について理解する。			
		④農業と地域社会	農業と地域社会について理解する。			
		①持続的農業の進展と有機農産物	持続的農業の進展と有機農産物について理解する。			
		②農業経営の変化	農業経営の変化について理解する。			
6		中間考査				
	第2章 農業経営の組織と運営 1 農業経営の主体と目標 2 農業経営の要素 3 農業経営組織の組み立て 4 農業経営の集団的取り組みと法人化 5 農業経営の運営	①さまざまな農業経営	さまざまな農業経営について興味関心を持つことができる。	行動観察 ノート・課題提出 期末考査		
		②農業経営の目標	農業経営の目標について理解する。			
		①生産と経営の要素	生産と経営の要素について理解する。			
		②生産要素の特性と利用	生産要素の特性と利用について理解する。			
7			①農業経営組織		農業経営組織について理解する。	
			②経営部門の選択		経営部門の選択について理解する。	
			③農業経営組織のなりたちと組み立て		農業経営組織のなりたちと組み立てについて理解する。	
			①農業経営の集団的取り組み		農業経営の集団的取り組みについて理解する。	
			②農業法人経営		農業法人経営について理解する。	
			①経営者能力と管理運営		経営者能力と管理運営について理解する。	
		②農業経営の集約化	農業経営の集約化について理解する。			
		③経営の規模拡大	経営の規模拡大について理解する。			
		期末考査				

9	第3章 農業経営と 情報 3. 農業のマーケ ティング	①農産物流通と市場 ②農産物流通とマーケティング 中間考査	マーケティングとは何かを理解する。また、その活動や農業におけるマーケティングの特徴を理解する。新聞等の資料を読み、理解を深める。 農産物における「取引＝市場」を理解し、農産物市場の役割と農産物価格の特徴を理解する。 供給と需要の特徴を理解し、農産物の価格形成のしくみを理解する。 農産物の特徴を再確認しながら、生鮮農産物のいろいろな流通経路について理解する。新聞等の資料を読み、理解を深める。農産物流通のパターンと価格について理解する。 卸売市場について理解する。 共同販売とその有利性を理解し、マーケティングの重要性を知る。「規模の経済」を理解する。 いろいろな流通の工夫について、新聞等の資料を読み、マーケティングが必要であることの理解を深める。 マーケティングの発展的段階を理解する。	行動観察 ノート・課題提出 中間考査
10				
11				
12				
1	4. 農業経営の 社会環境	①農業経営にとっての地域 ②農業政策と食料政策 学年末考査	地域社会における、集落、混住化、都市化について理解する。 農業経営における地域の実態について理解する。	行動観察 ノート・課題提出 学年末考査

4 評価の観点

知識・技術	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。 探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む力を身につけている。

5 評価の方法

「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」、の3観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

6 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習を伴う科目です。実習に必要な教具を準備し、適切な服装で参加してください。(白衣は貸し出します)
- ・ワークシート、定期考査問題等を整理するために、糊、ハサミを各自で用意してください。
- ・各実習内容の原理や意味を考えながら実習してください。
- ・ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。